探究科学科県内企業・施設研修事前学習

◇日　時：令和８年10月５日（月）第４時限
◇場　所：本校至誠ホール
◇参加者：第1学年探究科学科生徒８０名



中間テスト後の10月18日（金）に行う探究科学科県内企業・施設研修の事前学習として、イタイイタイ病対策協議会元会長の高木勲寛氏に来ていただき、イタイイタイ病の過去と現在ついて詳しく話をしていただきました。

講演では、高木さんの実体験に基づいて、イタイイタイ病の実際の症状や神通川の様子を語っていただきました。神通川が白く濁り、死んだ魚が水面に浮いていたという話は、現在の神通川の様子からは想像もできませんでした。さらに現在の裁判の話、農地整備の話についても聞きました。高木さんは今後、同じことを起こさないために我々は、イタイイタイ病を風化させないことが最も大切だとおっしゃっていました。小学生を対象として行われている「清流コンクール」もそのための活動に1つだということに個人的に驚きました。

生徒からは、「なぜ発病者が出てから企業に裁判で勝つまでかなりの時間がかかってしまったのか」という質問が出ました。高木さんによると、裁判では当時の国民は多少の犠牲は仕方ないという考えを持っていたために、企業側も強気で、中々現状を認めてくれなかったそうです。どんなに神通の清流が甦り、土地が整備されても、失われてしまった命は蘇りません。富山県民として、イタイイタイ病を風化させない義務が我々にはあると感じました。

中間テスト後にある県内企業・施設研修では、桝田酒造店、富山村田製作所、スギノマシン早月事業所に加えて、イタイイタイ病資料館に行きます。この講演で学んだことや疑問に思ったことを無駄せず、より多くのことを吸収し、有意義な時間にしたいと考えています。



